

神奈川県社保協ニュース

神奈川県社会保障推進協議会 【NO. 23-2】 2023年7月31日発行
横浜市中区桜木町3-9 平和と労働会館6F TEL045-201-3900・FAX045-212-5745

「保険証残してください」署名33筆！！

7.20 伊勢佐木町宣伝

7月14日に発足した「なくすな保険証！神奈川県連絡会」準備会として、7月20日16:00～伊勢佐木町ではじめての宣伝行動を実施しました。

保険医協会、民医連、神商連、神奈川労連、建設労連、自治労連、年金者組合、県社保協、横浜社保協など10団体から30人が参加しました。保険医協会から参加の4人の開業医をはじめ、次々と参加者がマイクをとって訴えました。

暑い中、人通りも少なかったのですが、市民の関心は高く、「保健証なくすなんてとんでもない」「困ってしまう」の声。用意したチラシ・ティッシュ500枚が40分程度でなくなり、署名33筆集まり、シール投票は反対43、賛成0でした。この宣伝行動の様子は、7月24日の神奈川新聞、7月22日の赤旗新聞に掲載されました。8月31日に「なくすな！保険証スタートアップ学習集会」を開催します。



神奈川県・市町村の9月議会に、「保険証の存続」意見書提出の請願・陳情をすすめよう！！

6月、座間市議会で「従来型（紙）の健康保険証の存続を求める意見書」が採択されたことに続いて、神奈川県・市町村の9月議会に、「現行の保険証の存続」を求める意見書提出の請願・陳情を提出しましょう。保険医協会、建設労連・神奈川土建が全市町村に提出する準備をすすめています。各組織で請願・陳情をすすめてください（とりまとめが必要な場合は、市町村段階で行ってください）。8月24日開催の後期高齢者医療広域連合議会には、保険医協会から陳情書を出す予定です。

全33市町村の国保課と「保険証の存続」を求め懇談をすすめる！！

また神奈川県社保協として、市町村国保の保険証存続を求め、県内33全市町村との懇談をすすめます。懇談の内容は、大きく①新型コロナウイルスの5類への変更に関して、②健康保険証の廃止に関して、③保険料（税）引き下げ・減免について、④資格証・短期証の発行、保険料（税）の滞納取り立てについての4項目で行います。

《8月の主な行動・会議日程》

- 8月2日（水）中央社保協運営委員会&介護障碍部会 10:00 日本医療労働会館+（ZOOM）
- 8月3日（木）全労連介護ヘルパーネット厚労省交渉 9:40 厚労省ロビー
- 8月4日（金）県社保協第2回常幹・幹事会合同会議 14:00 保険医協会会議室+（ZOOM）
- 8月5日（土）「それでもやるの？インボイス」パネルディスカッション 13:00 保険医協会+（ZOOM）
- 8月8日（火）後期高齢者医療神奈川県広域連合に陳情書提出 13:30 京急神奈川駅集合
平塚地域社保協幹事会 18:30 医療生協かながわ平塚診療所会議室
- 8月15日（火）県民要求連絡会事務局団体会議 9:30（ZOOM 会議）
- 8月22日（火）介護のつどい実行委員会 10:00（ZOOM 会議）
県社保協介護保険（つどい実行委員会終了後 ZOOM 会議）
県民連絡会対県要求提出交渉 13:00 県庁大会議場
- 8月23日（水）神奈川生存権裁判を支援する会事務局会議 10:00 平労会館 7F 会議室
- 8月24日（木）小田原市国保課との懇談 10:00 小田原市役所
後期高齢者医療神奈川県広域連合議会 14:30 労働プラザ
- 8月25日（金）高齢期運動連絡会幹事会 14:00 年金者組合会議室
- 8月31日（木）国民大運動実行委員会事務局団体会議 9:00 平労会館 4F 会議室+（ZOOM）
なくすな保険証！スタートアップ学習集会 13:30 建設プラザ 2F ホール

神奈川年金減額違憲訴訟「証人採用」！！

7.27 東京高裁

7月27日午後、東京高等裁判所で、第2回「年金引き下げ違憲訴訟」の高裁での審理が行われました。

炎暑の中にも関わらず、開廷前の裁判所門前集会には160人が結集、女性部を中心にした裁判アピールのタペストリー、年金裁判係争中の横断幕を通行人へアピールしながら始まりました。支援に神奈川労連書記長、神奈川県社保協代表、生健会などから激励と共同の運動をすすめる決意を述べる挨拶がありました。

集会中に「公正判決を求める要請署名」430筆と保土ヶ谷支部からの裁判官への要請手紙を携え、要請団が書記官室へ提出に向かいました。

101号法廷を満席にして始まり、冒頭裁判長から進行についての原告側、被告国側に対する確認がおこなわれました。組合側の証人として要請していた伊藤周平鹿児島大学教授が証人採用され、次回10月12日の審理に出席が可能かどうかを組合側弁護団へ確認するよう要請がありました。休憩時間をとり伊藤先生との連絡を取りましたが、大学が夏休み中や連絡窓口の担当弁護士もコロナ陽性で連絡が困難でしたが後日あまり遅くならない時期に可否の連絡をすることになりました。

裁判所側からも次回日程にこだわらない仮日程の提示がなされるなど裁判所側の誠実な姿勢を見せる場面もありました。組合弁護団から、国側の今回の「準備書面」が全てで、この後追加される書面などはないのかを確認、国側は「ありません」などのやり取りがありました。伊藤証人の尋問の日程の都合で、10月12日の審理日程が変更される可能性を含みました。

今回提出のあった国側の「準備書面」は組合側の「控訴理由書」への反論的な内容のものとなっていますが、5日前の提出ということもあり、これへの組合側からの反論はこの日はおこなわれず、次回となりました。

14:30前に法廷は終わり、国会議員会館で報告集会が行われました。弁護団からこの日の法廷でのやり取りについての解説と国側が提出した「準備書面」の概略的な紹介がありました。

- ①伊藤周平先生の意見書は憲法論からの法解釈が中心で、裁判所は「話は聞いてみましょう」という受け取りだろう。
- ②第4回目が1月25日と日程に入ったが、「これで終わりでは困る」まだ続く事を確認していきたい。
- ③国側の「準備書面」は反論になってない。年金制度は積み立て方式で始まっており、これが変わったならいつこの場面で賦課方式に変わったのかが明らかにされるべきだ。積み立て方式が社会通念になるよう世論の盛り上がりをつくる必要がある。
- ④年金財政を神奈川方式にしていく事を全国での焦点にしていくこと。変えた証拠がない、変えた理由を述べない、捏造を許さない。であるのに裁判所が国に変わって判決で応えるなど許さない。積み立金は増え続けているのに年金受給者からは削減し、いったいこの積立金をどこへ運用するつもりなのか政府の大軍拡予算、43兆円もの軍備予算、株式投資などとも関連してくる。

参加者から、「裁判が始まってから組合員の3割ぐらいが新しい人たちで裁判を理解していない。言葉も分かりやすくして。宣伝物も例えば県本部機関紙号外版も考えてはどうか」などの意見がありました。

<年金者組合神奈川県本部より>

秋の県交渉に向けた各分野の要求を討論!!

県民連夏季討論集会

7月29日、県民要求連絡会の夏季討論集会が開催され、オンラインを含めて訳30人参加しました。神田敏史自治労連委員長が「黒岩県政における自治体DXについて」を講演し、マイナ保険証による保険証廃止に地方自治体としてどう対峙するかについて言及しました。

11月の交渉に向けた各分野の要求原案が出され、報告・論議しました。8月22日に神奈川県への要求提出・交渉。8月14日までに各分野の要求をとりまとめることを確認しました。



8.5 消費税ネット パネルディスカッション

消費税ネットは、消費税を含めた税のあり方を考えることを目的に学習会や意見交換などを行っている緩やかなネットワークです。

消費税のインボイス制度の実施が予定されている10月1日が迫る中、8月5日(土)13時から、横浜駅西口の保険医協会会議室で「それでもやるの? インボイス」をテーマに、パネルディスカッションを行います。

6月末現在のインボイスの登録件数が332万件と課税事業者317万件をわずかに超えた程度になっています。フリーランスも含めた対象は1100万ともいわれており、登録の伸び悩みで「このまま実施できるのか?」との疑問の声も出されています。また、商工会議所などのアンケートでは「そもそも制度が複雑で理解できない」との回答が多数となり、「理解を広がるまで延期を」という声も広がっています。

こうした状況を踏まえて、改めてインボイス制度について考える場としました。

中央社会保障学校 from 岡山 9.16~17

9月16日(土)13:00~9月17日(日)15:00で、中央社会保障学校 from 岡山が開催されます。神奈川県からは、オンラインでの参加となります。

中央社保学校の開催目的は、①社会保障運動の歴史とたたかいについて学ぶ。②現在の社会保障をめぐる情勢の最新の状況とたたかい方について学ぶ。③社会保障入門講座を設置し、新入職員・同組合員の学習と活動家の実践・経験を深める場とする。④開催地県の運動実践に学ぶ。⑤社会保障運動にかかわる人の交流と学びの場にとということです。

岡山県は、はじめての生存権裁判、朝日訴訟の地です。「生活保護引き下げ違憲訴訟」を学び、「人権としての社会保障制度」の確立をめざす運動を広げるために、多くの参加をお願いします。

神奈川県社保協では、オンラインでの集団視聴ができるよう、横浜・川崎などでサテライト会場を準備します。8月中旬ごろご案内できるようにします。神奈川県社保協のホームページに案内を掲載し、申し込みできるようにします。

消費税ネットパネルディスカッション

『それでもやるの? インボイス』

■講演 「消費税とインボイスの仕組み」

税理士 亀山 美代子 氏

■パネルディスカッション

◇パネリスト

①小泉 なつみ 氏

(編集者・ライター。インボイス制度を考えるフリーランスの会 発起人)

②高橋 英晴 氏

(建交労経賃物ユニオン代表)

③吉田 美幸 氏

(フリー編集者(書籍・同人誌))



◇コーディネーター

消費税ネット代表世話人・税理士 益子 良一 氏

消費税ネットは消費税を含めた税のあり方を考える、緩やかなネットワークです。今回は10月1日から実施されるインボイスをテーマとしたパネルディスカッションを行います。

「インボイス?私には関係ない!」と思っているあなた。インボイスが実施されると、「アニメを担う若者が育たず衰退。クールジャパンどころじゃない」「物流を担う運送事業者が減少。物流が止まってしまう」などの声が当事者から出ています。そして「複雑でよくわからない」という声も。

一度立ち止まって、「インボイスとは何か?」「どうなるのか?」を、みんなでいっしょに考えるパネルディスカッションです。ぜひご参加ください。

★各種混雑より徒歩5分



【お問合せ】消費税を含めた税のあり方を考えるネットワーク事務局(神奈川県保険医協会内)
横浜市神奈川区鶴屋町2-23-2 TSプラザビル2階 TEL:045-313-2111

2023/8/5sat 13:00開会

【申込はこちら】

場所: 神奈川県保険医協会会議室・Web併用(会場地図は右上参照)

◆金銭参加をご希望の方は、上記事務局へお電話ください。
◆Web視聴をご希望の方は、右記QRコードもしくは下記URL
(<https://onla/shu2ffw>)、所属団体のHP(※リンクがある場合のみ)からお申込みください。



「権利はたたかう者の手にある」 朝日訴訟の精神をあらためて学び、暮らしにいかにそと 第50回 中央社会保障学校 from 岡山

新型コロナウイルスパンデミックにより、日本の社会保障をはじめとした政治や社会の貧困があらためて明らかになりました。自公政権の失政により日本経済は行き詰まり、2023年1月の消費者物価指数は41年4か月ぶりの高水準となっています。その上、前代未聞の軍事費2倍化に突き進み、軍拡増税と社会保障の解体を押し付けようとしています。「大砲かバターか、再び」の局面です。
「朝日訴訟」の地・岡山県で記念すべき50回目を開催します。

2023年
9月16日(土) 17日(日)
1日目 13:00-17:00 2日目 10:00-15:00
会場 岡山市勤労者福祉センター
(原則、岡山県居住者のみ) ※県外居住者は原則、オンライン参加

1日目 13:15~
■記念講演 13:15~
生活保護引き下げ違憲訴訟
一朝日訴訟のたたかひの歴史から何を学ぶべきか
NPO朝日訴訟の会・会長 則武 透
13:00 開校あいさつ
14:15 記念講演の質疑応答
15:00 企画1 現場からの「特別報告」(3本予定)
17:00 休校

2日目 10:00~
■企画2 10:00~
社会保障運動入門講座
京都府立大学准教授 村田 隆史
13:00~
■企画3 13:00~
シンポジウム
生活保護基準引き下げ違憲訴訟では何が問われているのか
シンポジウム・コーディネーター 弁護士 森岡 佑貴
15:00 | 閉校式
シンポジウム 林道徳精神科神経科病院・PSW 上村 真実
岡山県立大学准教授 吉岡 信夫
岡山県協会の報告(予定)

申し込みはこちら
参加費(資料代含む) 2日間3,000円(1日参加1,500円)
お申し込み期日/8月25日(金) 入金期日/8月31日(木)
(お申し込み時、登録されたメールアドレスに受付完了メールが自動返信されます)

【主催】中央社会保障推進協議会・第50回中央社会保障学校現地実行委員会
☎03-5808-5344 Fax.03-5808-5345 E-mail:sankasyaho25@shahokyo.jp

なくすな！保険証 スタートアップ学習集会

政府は、2024年秋に今ある健康保険証を廃止し、マイナンバーカードと一体化させる法案を成立させました。
しかし、マイナ保険証を巡るトラブルは後を絶たず、健康保険証をなくしてしまうことによる問題点も次々と明らかになってきています。
「いつでも、どこでも、だれでも、保険証一枚で」という日本の皆保険制度は、どうなってしまおうのでしょうか。
当日は連絡会の結成集会とします。共に学び、「保険証なくすな！」の怒りの声を結集しましょう。

2023年

8月31日 木

13:30-16:30

建設プラザかながわ2Fホール

横浜市神奈川区神奈川2-19-3 (JR/京急 東神奈川駅徒歩4分)



学習講演

「マイナ保険証一体化の問題点と
最近の動き—今後の運動を展望しながら—」

講師：知念 哲(神奈川県保険医協会事務局次長)

ほか、各地域、団体からの報告、討論を予定。



参加方法

会場またはWEB (ZOOMミーティング) にて参加。

ZOOM 参加の方は、右のQRコードからお入りください⇒

●入室URL：<https://onl.bz/qdSimaZ>

●ミーティング ID: 890 3592 7880 パスコード: 359172

